

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【公表番号】特表2015-533503(P2015-533503A)

【公表日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2015-074

【出願番号】特願2015-537798(P2015-537798)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/68 (2006.01)

C 12 M 1/00 (2006.01)

G 01 N 33/53 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/68 A

C 12 M 1/00 A

G 01 N 33/53 M

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月14日(2016.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マイクロトランスポンダ上にキャプチャされたターゲットヌクレオチド塩基の配列を、複数の配列決定反応にかけて、ターゲットヌクレオチド塩基の配列に相補的であり、かつこの配列に結合する単一のヌクレオチド塩基の配列を連続的に付加することと、

各配列決定反応の後に、付加された各ヌクレオチド塩基を識別することと、

配列の付加された各ヌクレオチド塩基を、マイクロトランスポンダの識別番号と関連付けることと

を含む、方法。

【請求項2】

ターゲットヌクレオチド塩基が、キャプチャプローブを介してキャプチャされる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

ターゲットヌクレオチド塩基が、DNAまたはRNAを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

ターゲットヌクレオチド塩基をクローン増幅することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記クローン増幅が、配列決定反応の前に、エマルジョンポリメラーゼ連鎖反応を含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

付加されるヌクレオチド塩基の少なくとも1つが標識を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

付加されるヌクレオチド塩基の少なくとも1つが光学標識を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

付加されるヌクレオチド塩基の少なくとも 1 つが電気化学標識を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

付加されたヌクレオチド塩基の識別が、フローメータを用いることによる、付加されたヌクレオチド塩基の検出を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記識別が、付加された前記塩基とともに前記マイクロトランスポンダを、装置の反応ステーションから、前記フローメータを用いる前記装置の識別ステーションに移動させることを含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記識別ステーションが、付加された前記塩基を検出するディテクタを含み、前記ディテクタは、1 つ以上の光学信号、電気信号、および化学信号を検出する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

付加された前記塩基が、蛍光、発光、pH、熱、水素イオン濃度、ピロホスフェート濃度および放射活性の変化によって検出される、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

单一の標識が、付加される複数のヌクレオチド塩基に用いられる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 14】

種々の複数の標識が、付加される各ヌクレオチド塩基に用いられて、付加された種々のヌクレオチド塩基を区別する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 15】

付加される前記塩基が、单一の塩基として付加される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 16】

付加される前記塩基が、オリゴヌクレオチドとして付加される、請求項 1 に記載の方法。

。

【請求項 17】

オリゴヌクレオチドが、最大約 30 のヌクレオチドを含む、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

複数のマイクロトランスポンダを、複数の核酸ターゲットを含有する多重アッセイに用いることをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 19】

微流量チップデバイスにおける方法の少なくとも一部を実行することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 20】

マイクロトランスポンダ上にキャプチャされたターゲットヌクレオチド塩基の配列を、複数の配列決定反応にかけて、ターゲットヌクレオチド塩基の配列に相補的であり、かつこの配列に結合する单一のヌクレオチド塩基の配列を連続的に付加することと、

付加された各ヌクレオチド塩基とともに前記マイクロトランスポンダを、装置の反応ステーションから、フローメータを用いる前記装置の識別ステーションへ移動させることと、

各配列決定反応の後に、付加された各ヌクレオチド塩基を識別することとを含む方法。

【請求項 21】

無関係な配列決定試薬を取り除くことをさらに含む、請求項 20 に記載の方法。